

PT・OT・STのための 呼吸・循環リハビリテーションセミナー in 札幌

講師

小林直樹 先生 湘南藤沢徳洲会主任PT(認定(循環)理学療法士・心臓リハビリテーション指導士)

渡邊宏樹

Knowledge Link代表PT(呼吸療法認定士・心臓リハビリテーション指導士)

認定・専門理学療法士制度ポイント認定講習会
内部障害理学療法専門分野:内部(全領域)
5ポイント(予定)

呼吸器や循環器の問題は外から見えない。

骨折や脳卒中で入院している患者さん、回復期病棟に入院中の患者さん、訪問リハビリ中の患者さん。
その中に、呼吸器系や循環器系に問題を抱えている患者さんはいませんか？
少しの運動で異常な呼吸苦が出てしまう、なかなか痰が切れない、動悸や胸の違和感がある…。
人間は「見たいものしか見ない」、あるいは「見たいように都合よく現実の世界を変換してしまう」。
目に見える障害の陰に、見えづらい障害「呼吸・循環系の問題」が潜ってはいませんか？

呼吸と循環は基礎。OTでもSTでも「呼吸リハ」や「心臓リハ」の知識は必要。

人間は、極論すれば呼吸不全になり、心不全になり亡くなります。全ての医療は呼吸不全、心不全から逃れることはできません。もちろんリハビリテーションも例外ではありません。
どんな疾患や障害の患者さんであっても、「呼吸・循環の管理」は全てのリハビリテーションに先立ちます。
作業療法でも言語療法でも、呼吸や循環の管理は前提です。

呼吸や循環の管理ができない療法士に、脳卒中や骨折の患者さんを任せられない。

どんなに経験あるエキスパートの治療であっても、呼吸や循環の管理ができていなければ、それは危険なことです。
知らぬまの低酸素の中で…、ノーマークの不整脈の中で…、
必死に歩行練習をする患者さんがいるとすれば、それはあなたが気づいてあげるべきです。

PROGRAM

循環器系の基礎理解と心臓リハビリテーションの全てを学ぶ！

- ①循環器系の解剖生理の概観・病態の理解(心筋梗塞・狭心症・弁膜症・大血管・末梢血管)
- ②循環器系の評価(循環状態を把握する)
- ③心臓リハビリテーション概論(快方に向けて)
- ④安全な運動強度をどのように決めるか(ATとは何か・機器(CPX)が無い場合どうやって評価するか)
- ⑤運動療法の考え方(具体的にどのように指導するのか)
- ⑥最近の話題(フレイル・サルコペニア)
- ⑦ケースステディ(心筋梗塞などを例として)
- ⑧質疑応答

呼吸器系の基礎理解と呼吸リハビリテーションの全てを学ぶ！

- ①呼吸器系の解剖生理の概観・病態の理解(COPD・肺炎・間質性肺炎)
- ②呼吸器系の評価(呼吸状態を把握する)
- ③呼吸リハビリテーション概論(快方に向けて)
- ④呼吸法・排痰法・運動療法・ADLトレーニングの考え方
- ⑤最近の話題(呼吸筋トレーニング・フィジカルアクティビティー・OT/STの活躍)
- ⑥早期離床の考え方
- ⑦ケースステディ(COPD・肺炎・新経筋疾患などを例として)
- ⑧質疑応答

対象: PT / OT / ST

臨床で使える
排痰援助を実習！

スクイーピング
スプリングング
ポストリフツ
その他

質疑応答

日時

2020年4月19日(日) 9:30～16:00(9:15受付開始)

北農健保会館 エルム 札幌市中央区北4条西7丁目1番4

受講料 13,000 円 (3名以上でお申込みの場合は11,000円/人)

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>
